

<競技部>

大会名	期 日	会 場	備 考
大阪府民スポーツ大会 バスケットボール競技	5月4日 ↓ 6月9日	フィットネス21東淀川体育館 千島体育館 Asueアリーナ大阪	予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
第78回 国民スポーツ大会 近畿ブロック大会	8月17日 ・ 18日	和歌山県	
第78回 国民スポーツ大会	10月10日 ↓ 14日	佐賀県	
第71回大阪総合 バスケットボール 選手権大会	8月24日 ・ 8月25日	箕面市立 第1総合体育館 高槻市立 総合スポーツセンター	全日本選手権大阪府代表 決定戦を兼ねる
第91回皇后杯 全日本 バスケットボール選手権大会 2次ラウンド	11月30日 ・ 12月1日	大浜だいしんアリーナ	
第17回大阪シニア バスケットボール大会	月 日		
大阪バスケットボール カーニバル	2月24日	おおきにアリーナ舞洲	

第26回 Wリーグ 大阪 開催予定 (対戦カードの情報公開は、6月以降となります。)

開 催 日	開 催 会 場	対 戦 カ ー ド	
11月2日(土)	岸和田市総合体育館	Wリーグ	
11月3日(日)			
3月8日(土)	金岡公園体育館	Wリーグ	
3月9日(日)			

## <TO>

### 1. 重点目標

- ・ カテゴリーを超えて連携し、各カテゴリーの TO 技術の底上げを行う。
- ・ トップリーグを担当できる知識と技能を持つ TO 担当者（B 級 TO）の養成。
- ・ FIBA Statistician 及び FIBA TO ライセンスを取得できる知識と技能を持つ TO 担当者の養成。

### 2. 活動方針

- ・ 定期的に TO・スタッツ講習会を実施し、ルールの理解を深め、技能を磨く。
- ・ 各カテゴリーでの TO 講習会に、FIBA ライセンス取得者を講師として派遣する。
- ・ トップリーグに限らず、天皇杯・皇后杯や 3×3 などカテゴリーを超えて TO 担当者を派遣する。
- ・ JBA が主催する TO 講習会等に積極的に研修生を派遣し、研鑽を積む。

### 3. トップリーグ担当 TO 講習会 実施計画

No.	開催日	研修会・研修使用大会等	会場	備考
1	2024.4.27 (土)	新規 TO 希望者 ガイダンス・講義	大阪府協会事務所	ガイダンス 講義
2	2024.5.25 (土) ・ 26 (日)	OTC スパジオカップ	大浜だいしんアリーナ (大浜体育館)	実技講習
3	2024.6.9 (日)	大阪府民大会 (最終日)	Asue アリーナ大阪 (サブアリーナ)	実技講習
4	2024.6.16 (日)	地域リーグ (男子)	常盤アリーナ (兵庫県)	実技講習
5	2024.7.中旬	地域リーグ (男子) (予定)	調整中	実技講習
6	2024.8.17 (土) ・ 18 (日)	国民スポーツ大会 近畿ブロック大会	ビッグホエール (和歌山県)	近畿ブロック合同 実技講習
7	2024.8.24 (土) ・ 25 (日)	大阪総合	箕面スカイアリーナ 高槻市総合スポーツセンター	実技講習

### 4. トップリーグ担当 TO・スタッツ派遣 計画

B. LEAGUE	大阪エヴェッサ ホームゲームへ TO 担当者を派遣予定
W リーグ	大阪府開催の試合へ TO 担当者を派遣予定
皇后杯	2 次ラウンドへ TO 担当者を派遣予定
3×3 連盟	3x3 日本選手権大阪府大会 (オープン・U18) へ 派遣予定

その他、各連盟や全国大会等への派遣依頼があれば、積極的に派遣する。

## <企画・広報>

大阪のバスケットボールの情報源として、充実した内容を発信していく  
W. league2024-25 開催への集客が出来るような配信を目指す

### 1. ホームページの充実、改善

- ①大会情報や結果、新着情報などの情報を始め、各委員会・連盟と連携
- ②他府県協会の HP も参考に、アクセス者の利便性を向上させるべく改善

### 2. SNS 広告

- ①定期的な更新の徹底  
恒常的なアクセス数維持のため、各部会の更新期間が空く場合でも投稿を継続する
- ②インサイト情報(利用状況)の活用  
アクセス状況が高い時間を分析し、登録者が Facebook や X(旧 Twitter) を利用している時間帯で情報発信
- ③新たな SNS 媒介の活用  
Instagram を活用し、新たなユーザー層へアプローチを行う
- ④新たな Facebook・X(旧 Twitter) 登録者(ファン)の開拓(※2021 年度より継続)  
SNS 利用者へ、スポンサー獲得や大会・イベント告知に広告利用を行い、非登録ユーザーへのアプローチを行う

### 3. W. league2024-25 開催への集客

- ①顧客セグメンテーション対策  
コア選手をロールモデルとして憧れる世代を超えた観客を育む  
・学校部活動 PR、クラブチーム PR、前座試合の企画  
・握手会、飲食の充実、試合前日などクリニックの実施
- ②SNS での広報宣伝と MD (Merchandising)  
集客戦略：HP の整備＝SNS 配信の誘導、大阪協会 TikTok などの企画  
MD 背柵：試合チームのグッズ提供(販売)、権利販売(はオフタイムアトラクション参加、エスコートなど)
- ③SDGs 企画(シーズン前)  
選手とリーグの自発的な取り組み「国際女性デー」「清掃活動」など 会場の要らないイベント  
スポンサー企業との連携強化：ネーミングライツ、コラボグッズなど

### 4. 動画配信を利用した発信強化

Youtube 等、動画を利用した発信  
文章や写真では伝わらない大会の様子を動画などのコンテンツを利用し、積極的に発信する

### 5. 学生インターンシップの導入

- ①天皇杯皇后杯やWリーグなどの経験を活かし、学生の進路に対してメリットのある事業  
学生にとって、業界・職種研究になり、入社してからの仕事のイメージがつきやすく志望動機の裏付けになる内容の提供
- ②学生が「自分の人生をどうしたいか」を考える場の提供  
学生自身が興味を持っている分野について、考えるための機会とする

### 6. マネージャー養成講座の実施

「部活動をマネジメントする人材の育成」を目的に、高校部活動マネージャーの基本的なスキル習得とモチベーションアップのための講座を実施する

## <技術統括>

### 1. 方針

新型コロナウイルス感染症が第五類感染症に移行したこともあり、令和6年度は昨年度同様に事業をすすめていきたい。

(公財)日本バスケットボール協会より打ち出された「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2021」の理念を受け、「大阪でバスケットボールを楽しむ人が増え、バスケットボールを楽しめる環境が充実し、そして、大阪から日本代表選手が生まれ、世界で活躍し、それが大阪や日本社会を元気にしていくこと」を理念として事業をすすめていく。

その内容は、「強化・育成」「事業」「組織」を引き続き進化させ、「育成」「コンプライアンス」「With コロナ対応」に挑み、今の上昇機運を好循環スパイラルに昇華させるというものである。各委員会がこれまで構築してきたものを更に充実させ、場合によっては各委員会が横断的に協力し、登録チームや選手に対して「育成」・「強化」・「普及」をはかるために事業をすすめていきたい。

「育成」においては、DC事業が10年目を迎えるわけだが、引き続き各カテゴリーにおいて各事業の開催に向けて取り組んでいきたい。特に、育成事業の柱であるU12の練習会、U13の5ブロック練習会、U14の8ブロック練習会と大阪DC交流大会、U15の練習会を開催し、育成に努めたい。また、課題であったU15とU16(国体少年男女)とのつながり大きく前進したので、さらに連携を深めていきたい。指導者養成では、2019年度よりコーチデベロッパー制度導入など、コーチに関わるライセンス制度が大きく変更された。今後も制度の変更にしっかりと対応できるよう、研修の充実など、コーチにとっても安心・安全な環境を構築するために適切な支援をしていきたい。

「強化」においては、令和元年度国民体育大会から少年種別がU16に変更されたため、成年種別でU17、U18のいわゆる高校生2・3年生も対象選手となった。選手選考やスタッフ構成においてU18から1名加わるようになっており、更なる強化に向け取り組んでいきたい。

「普及」においては、49歳以上の大阪シニア大会の開催を通じ、オーバーエイジカテゴリーの普及に努めていきたい。

### 2. 今後の課題と具体案

#### (1) 強化事業

##### ①国民スポーツ大会(成年種別)事業

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム、選手の発掘
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学生連盟、社会人連盟との連携
- ・ 強化練習会、合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 若手スタッフ、女性スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考

##### ②日本スポーツマスターズ2024長崎大会への選手選考、派遣

- ・ 選手選考会の実施(5月~6月で2~3回実施予定)
- ・ 選手派遣

2024年9月28日(土)~10月1日(火) 開催地:長崎県長崎市、大村市

#### (2) ユース育成事業

##### ①基本方針

- ・ 安心、安全なバスケットボール環境の実現
- ・ 個の成長を促す指導内容、指導方法の実践
- ・ DC事業の定着、発展
- ・ 育成方針、発掘方針、育成マインドの伝達

- ・各地区講習会の開催における強化（発掘・育成）、普及
- ・伝達講習の充実、指導者養成
- ・U12、U15、U18間のカテゴリーを超えた連携、交流、情報共有
- ・強化委員会、指導者養成委員会、普及委員会、競技部との連携
- ・国民スポーツ大会（少年種別）事業の中高一貫指導体制の構築
- ・リーグ戦事業の充実

## ②事業計画

- ◆U16DC 講習会
  - ・中央講習会 2024年4月～7月
- ◆U15DC 講習会
  - ・中央講習会 2024年10月～12月
- ◆U14DC 講習会
  - ・前期8地区講習会 2024年5月～6月
  - ・後期8地区講習会 2024年9月～2025年3月
  - ・中央講習会 2025年1月～2月
  - ・大阪DC交流大会 2025年3月8日（土）、9日（日）会場：調整中
- ◆U13DC 講習会
  - ・8地区講習会 2024年10月～2025年3月
  - ・大阪バスケットボールカーニバル8地区交流戦  
2025年2月24日（月祝）会場：おおきにアリーナ舞洲
- ◆U12DC 講習会
  - ・2024年7月～2025年3月
  - ・大阪DC交流大会 2025年1月～2月

## ③U15バスケットボール大阪リーグ

### 前期

- 第1節：2024年6月2日（日）会場：大阪府各中学校
- 第2節：2024年6月9日（日）会場：大阪府各中学校
- 第3節：2024年6月16日（日）会場：大阪府各中学校
- 第4節：2024年6月23日（日）会場：大阪府各中学校

### 後期

- 第1節：2025年2月9日（日）会場：大阪府各中学校
- 第2節：2025年2月11日（火祝）会場：大阪府各中学校
- 第3節：2025年2月16日（日）会場：大阪府各中学校
- 第4節：2025年2月24日（月祝）会場：大阪府各中学校

## (3) 指導者養成事業

### ①JBA 公認コーチの登録管理

2024年度 TeamJBA 登録開始 2024年3月18日 10:00～

### ②JBA 公認コーチ養成講習会の開催

- ◆JBA 公認C級コーチ養成講習会（各3日間） 座学・実技
  - 第1回：2024年6月 会場：未定 講師：3名 受講生：30人
- ◆JBA 公認D級コーチ養成講習会（各2日間） 座学・実技
  - 第1回：2024年5月 会場：未定 講師：3名 受講生：40人
  - 第2回：2024年9月 会場：未定 講師：3名 受講生：40人
  - 第3回：2024年10月 会場：未定 講師：3名 受講生：40人

**③リフレッシュ研修会の企画、開催**

第1回：2024年7月	会場：未定	講師：1名	受講生：100人
第2回：2024年10月	会場：未定	講師：1名	受講生：100人
第3回：2024年11月	会場：未定	講師：1名	受講生：100人
第4回：2024年12月	会場：未定	講師：1名	受講生：100人
第5回：2025年1月	会場：未定	講師：1名	受講生：100人

**④キッズサポーター養成講習会の開催**

第1回：2024年5月	会場：未定	講師：1名	受講生：50人
第2回：2024年10月	会場：未定	講師：1名	受講生：50人

**(4) 普及事業**

**①第17回大阪シニア大会の開催**

日程：未定  
会場：未定

## <医科学>

### 1. メディカルチェック(フィジカルチェック含む)の実施

主に小学生、中学生、高校生、大学生で公募。メディカルチェックの測定種類は、通常版と簡易版(主に小学生向け)がある。通常版は、1件につき30名以上、簡易版は、1件につき10名以上で開催する。必要機材を順次揃えていく。特に足首ねんざの予防に力を入れ、エコー検査を中学生から推進していく。また、メディカルチェックの結果をフィードバックして各選手に認識させ、起きやすい傷害を予防するトレーニング方法やケガをした時のリハビリ等の運動指導を行う。

### 2. 講習会の開催

一般現職者や指導者、審判、競技者等、対象者の範囲を大きく広げて講習会を開催。オンラインや対面での講習を行い、幅広い内容で実施予定。年間6回程度開催予定。

### 3. 専門家向け研修会・勉強会の開催

医科学委員、サポートスタッフ(学生を含む)、メディカルチェックスタッフ、有資格の希望者等を募り研修会や勉強会を開催し、スタッフの各種レベルアップをはかる。年間で3回程度開催予定。また、受講者の中から本委員会への貢献度、人格面、経験値などを考慮して活躍を期待できるスタッフに日本スポーツ協会アスレティックトレーナーやスポーツドクター、スポーツデンティスト等の養成講習会参加への推薦を当協会に依頼する。

### 4. 大会でのトレーナーブースの設置、トレーナー派遣

当協会、各連盟主催の大会時、トレーナーブースを設置し、選手に対する救護、テーピング、アイシング、ストレッチ指導、トレーニング指導、リハビリ指導などのコンディショニングを業務とする。業務に必要な資材の充実を図る。現場ではLINE動画などで間接的に医科学委員のドクターに指示を仰ぐ等をして、幅広く対応ができるように各分野のスタッフが関わるように運営する。また、選抜チームや希望するチームへのトレーナー派遣を依頼に応じて行う。チームへのトレーナー派遣では、チームの要望、特性に合わせた内容を作成、指導を実施。

### 5. 大会へのドクター派遣

当協会や各連盟主催の大会、全国大会、Bリーグ、Wリーグ、審判部フィットネステストなどドクター派遣やドーピング検査への協力を行う。

### 6. DCなど協会事業への協力

DC中央講習会の救護やメディカルチェックで協力をする。

DCにおいては、地区練習会での傷害予防や体力向上等の内容で運動指導の回を設ける。

### 7. 協賛医院・企業の募集

ホームページに広告掲載する協賛医院・企業を募集する。

## 8. 学会発表

これまでの傷害予防調査の結果やメディカルチェックの結果をもとに日本体力医学会、日本臨床スポーツ医学会や日本バスケットボール学会にて発表を行い、傷害予防についての啓発を行う。

## 9. ホームページの作成・充実

現在存在する協会ホームページ内の医科学委員会ページの内容の充実化として、活動記録や傷害予防啓発の発信などを行う。

## 10. U12 チームへの医科学の介入

指導実践研究グループ(C&PDSA)による枚方体育協会の地域型総合クラブへの傷害予防を目的とした医科学委員の介入を行う。

## 11. 女性アスリートへのサポート

当協会に登録をしている女性選手に対して、健康に競技生活を送れるようにサポートをするためにアンケート調査を実施して現状を把握し、産婦人科医を中心にして生理に関する知識の普及のため選手・保護者・指導者向けの講習会の開催を予定。

## 12. 医科学委員会会議の開催

奇数月第 3 土曜日に会議を行う。委員だけでなく医科学委員会の構成する登録サポートスタッフもオブザーバーとして参加してもらう。



## <審判>

### 1. 2024年度 大阪府所属上級審判員

S級 6名：浅野祐樹（U15）飯尾勝紀（U18）大倉哲也（U18）茅野修司（社）  
細見竜太（社）村田尚美（社）

A級 8名：石川淳也（U15）太田令菜（U18）北村 仁（U18）木村裕也（U12）  
頼富未喜（社）田中真規（社）堂國和昭（U12）花谷槇子（社）

### 2. 重点目標

- ・『公平性・一貫性のある判定力』を持つ審判員の育成。
- ・プレイヤー、ベンチ、観客から信頼を得る審判員の育成。
- ・3P0担当審判員の育成。
- ・次世代を担う審判員の育成（U18 B級審判員の輩出・強化）。
- ・B：A：S級ライセンス昇格者の育成
- ・2026年大阪 IHに向けての地元審判員の強化

### 3. 方針

- ①バスケットボール技術向上の為に正しいルールの適応と実践。  
実技及び座学講習会を実施すると共に映像を使用しての分解講義の実施。
- ②大きな枠組み以外に細分化した講習会の継続実施。上級審判員輩出までの強化プロセスのシステム化  
3P0：2P0：指名強化：女性：BCD級：U25：YOC（ヤングオフィシャル）を対象とした講習会の実施。
- ③カテゴリー、連盟、部署、他競技を超えた交流を行い、各組織との連携強化、相互発展を目指す。
- ④他府県及び他ブロックの審判派遣。  
大阪府以外への審判員派遣を行い、普段と違う環境での活動を行う。
- ⑤審判員として常に向上心を持ち、研鑽する努力を積極的に行う。
- ⑥審判委員 HP の活用。  
各種大会及び結果、報告書を掲載し情報の共有と提供を行う。

### 4. 審判派遣事業

#### ●全国派遣

インターハイ：福岡	A級以上	3名	派遣予定
全中：新潟	B級以上	1名	派遣予定
ウインターカップ：東京	A級以上	2名	派遣予定
Jr ウインター：東京	B級以上	1名	派遣予定
全国ミニ：東京	U25 B級以上	1名	派遣予定
社会人選手権：熊本	A級以上	1名	派遣予定

●全関西交歓大会（広島県開催）

12月（中学） 若手中心のC～B級 2～5名 派遣予定

3月（高校） 若手中心のC～B級 2～5名 派遣予定

5. 審判育成事業（講習会計画）

講習会・研修会 名	時 期	備 考
女性講習会	4～8月	女性審判員
A級+A級候補審判強化講習会 （ステップアップ研修会）	通年	指名A級・B級審判員
BCD級講習会	7～12月	BCD級審判員
A級研修会（近畿ブロック）	8月	A級審判員
B級昇格審査会	12月	連盟長推薦
JBAルール伝達講習	3月	各連盟長
U25審判研修会	通年	連盟推薦 審判委員会指名
U18 Referee Academy Osaka （高校生対象審判講習会）	通年	高校生